

## 北海道男女平等参画審議会専門部会開催状況（概要）

### 1 専門部会

#### (1) 日時

平成24年11月30日（水）13:30～14:30

#### (2) 場所

北海道庁本庁舎12階 環境生活部1号会議室

#### (3) 議題

- ① 北海道男女平等参画チャレンジ賞について
- ② 平成24年度北海道男女平等参画チャレンジ賞の選考について

#### (4) 内容

##### ① 事務局から賞の内容説明

賞の概要、過去の受賞者、今年度の募集状況等について事務局より説明した。

##### ② 選考

事前選考意見を集約した資料をもとに、各受賞候補者について意見交換し、選考した。

（今年度は、4件の推薦があり、その中から2件選考した。）

#### <選考結果>

##### ◎輝く北のチャレンジ賞

- ・ふるさと倶楽部ガル（石狩市）
- ・高齢者コミュニティビジネス団体 麻の会（白老町）

※敬称略

受賞者一覧については、別紙のとおり。

### 2 専門部会委員名簿

氏名	所属	職名	摘要
赤坂和恵			
梶井祥子	札幌大谷大学	教授	
佐藤正啓	株式会社北海道アルバイト情報社	取締役	部会長
山中和幸	リンケージサービス株式会社	執行役員 事業統括本部長	
山田悦子	日本労働組合総連合会北海道連合会	女性委員会 委員長	

平成24年度 北海道男女平等参画チャレンジ賞 受賞者一覧

【輝く北のチャレンジ賞】

団体名	ふるさと倶楽部 ガル	代表者	田 中 照 子	住所	石狩市
<p>《受賞理由》</p> <p>石狩市浜益区で、様々なサークルに活動の場を提供してきた「適沢コミュニティセンター」が平成20年3月に廃止、閉館されることになり、この施設の有効活用策について、地域で2年半を懸け構想を練り続けてきた結果、平成21年11月に地元の女性有志グループ「ふるさと倶楽部ガル」が生まれました。</p> <p>翌平成22年6月には、海に面した窓側にカウンターテーブルを配置し、大きく広がる日本海を背景に夕日を楽しめるよう工夫を凝らし、地元の野菜、魚介類をふんだんに使った料理で、観光客はもとより地元の住民へ浜益産の食事を提供するため、「ふるさと倶楽部ガル」が運営する「カフェ・ガル (café gull)」がオープンしました。</p> <p>この「カフェ・ガル」は、単なる軽食・喫茶という役割ばかりではなく、浜益地区のサークル活動の成果の展示や区内で生産された食材の販売、観光パンフレットを配置するなど、訪れる方への観光案内所的な役割も果たしています。</p> <p>また、石狩市の社会福祉協議会が行っている配食サービスが平日のみのため、開設当初から、高齢者の安否確認を行うことを目的に、土・日・祝日の配食サービスを行うなど、高齢者にとって、安心して安全な地域となることを目的としてその活動を展開しています。</p> <p>「カフェ・ガル」は営業日数も年々増え、訪れる人も道内はもとより道外からも訪れるなど、石狩市の観光の拠点の一つになりつつあります。地域では「ガル」の愛称で親しまれ、今後も地域に根付いた活動の継続が期待されます。</p> <p>※注 (ガル (gull) =かもめの意/かもめは、石狩市で定めている「いしかりの鳥」)</p>					

【輝く北のチャレンジ賞】

団体名	高齢者コミュニティビジネス団体 麻の会	代表者	赤 崎 壽 子	住所	白老町
<p>《受賞理由》</p> <p>平成21年4月、14人の平均年齢70歳の女性たちが、「高齢者コミュニティビジネス団体 麻の会」を立ち上げ、6月に山菜料理店「グランマ」をオープンさせました。</p> <p>オープンに当たっては、自己資金を含めた資金の調達や商店街の空き店舗を利用し安価に改造するなどいろいろ工夫を重ねています。</p> <p>また、提供するメニューは、白老町が平成16年から行っている地域・産業振興プロジェクトの中の「薬膳料理プロジェクト」で開発したメニューを元に、タケノコ、ワラビ、ウドなど山菜も白老産、その他の食材も白老産にこだわった山菜定食などを提供しています。これに加えて、地元里山でとれるクマザサ、スギナ、ドクダミなどで野草茶を創り、販売の柱としています。</p> <p>開店当初から、地元はもとより、苫小牧、室蘭、札幌からも訪れる人も多く、盛況を博しています。これは、「グランマ」ばかりではなく、街の中心の商店街の賑わいにつながっています。</p> <p>この運営に当たり、継続的な活動が可能となるよう収支管理を行い、収益が見込めるところとなっています。将来的には、郊外への2号店の夢を持っています。</p> <p>これらの活動は、「高齢者の生きがいづくり、商店街の活性化に貢献したい」との思いから始まり、同年齢の男性や商店街など地域を巻き込んだ活動となっており、経済性の面からも自立した運営が臨めるなど、地域活性化に向けた取組となっていることや高齢者の智恵を雇用に結びつけるなど、今後の活動の広がりが期待されます。</p>					